

# 大阪マラソン組織委員会（第24回）

日 時 平成30年6月29日（金） 14時00分～14時45分

場 所 KKRホテル大阪 3階 銀河（ぎんが）

出席者 （別紙のとおり）

次 第 ○ はじめに

○ 議 事

- 1 大阪マラソン組織委員会設置要綱の一部改正について
- 2 平成29年度収支決算（案）及び平成30年度事業計画（案）・  
収支予算（案）について
- 3 第8回大阪マラソンについて
  - (1) エントリー状況等について
  - (2) 大阪マラソンアンバサダーについて
  - (3) 大会盛上げ事業について
  - (4) ボランティアについて
  - (5) 府内マラソン大会等との連携について
- 4 第9回大阪マラソンコース変更の概要について
- 5 大阪マラソンチャリティ事業構想について
- 6 その他

○ おわりに

## 【配布資料一覧】

- 《資料1》 : 大阪マラソン組織委員会設置要綱（案）
- 《資料2》 : 平成29年度収支決算報告書（案）
- 《資料3》 : 監査報告書
- 《資料4》 : 平成30年度事業計画（案）
- 《資料5》 : 平成30年度収支予算（案）

- 《資料6》 : エントリー状況等について
- 《資料7》 : 大阪マラソンアンバサダーについて
- 《資料8》 : 大会盛上げ事業について
- 《資料9》 : ボランティアについて
- 《資料10》 : 府内マラソン大会等との連携について
- 《資料11》 : 第9回大阪マラソンコース変更の概要 について
- 《資料12》 : 大阪マラソンチャリティ事業構想について

## 出席委員名簿 大阪マラソン組織委員会(第24回)

役職	氏名	所属
顧問	松井 一郎	大阪府知事
顧問	吉村 洋文	大阪市長
顧問	岩木 均	大阪府議会議長
顧問	角谷 庄一	大阪市会議長
会長	松本 正義	一般財団法人大阪陸上競技協会会長、 公益社団法人関西経済連合会会長
副会長	新井 純	大阪府副知事
副会長	鍵田 剛	大阪市副市長
副会長	竹内 章	一般財団法人大阪陸上競技協会専務理事
委員(代理)	橋本 誠司	読売新聞大阪本社取締役事業本部長
委員	宮川 晴美	大阪市地域振興会会長
委員(代理)	森浦 進	大阪市商店会総連盟事務局長
委員(代理)	梶川 哲郎	公益財団法人大阪体育協会事務局長
委員	阪口 伸六	大阪府体育連合会長
委員	斉喜 博美	大阪府スポーツ推進委員協議会会長
委員(代理)	宮本 裕正	大阪市体育協会事務局長
委員	濱田 麗史	大阪市体育厚生協会会長
委員	八町 慎	大阪市スポーツ推進委員協議会会長
委員	橋爪 静夫	大阪府障がい者スポーツ協会会長
委員	山田 俊平	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会理事長
委員	茂松 茂人	一般社団法人大阪府医師会会長
委員(代理)	多田 敦司	国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第一課長
委員(代理)	村上 良明	国土交通省近畿運輸局観光部観光戦略推進官

役 職	氏 名	所 属
委員(代理)	南部 康之	阪神高速道路株式会社経営企画部経営企画課課長代理
委員	岡本 圭司	大阪府府民文化部長
委員	酒井 隆行	大阪府教育委員会教育長
委員	柏木 陸照	大阪市経済戦略局長
委員	北田 耕之	一般財団法人大阪陸上競技協会副専務理事
委員	荒木 誠	株式会社ケイ・オプティコム代表取締役社長
監事	樋元 四郎	一般財団法人大阪陸上競技協会事務局長
チャリティ部会長	橋爪 紳也	大阪府立大学大学院経済学研究科教授

欠席者

委員： 大阪府商店街連合会会長・大阪府商店街振興組合連合会理事長 辰野委員

大阪商工会議所会頭 尾崎委員

一般社団法人関西経済同友会代表幹事 黒田委員

公益財団法人大阪観光局会長 福島委員

監事： 大阪商工会議所 児玉常務理事・事務局長

※ご欠席の委員の方々からは、会長あての委任状をいただいております。

## 大阪マラソン組織委員会設置要綱

### (設置)

第1条 大阪マラソン開催に必要な事業・運営計画の検討・実施など、その具体的な開催業務を推進していくため、大阪マラソン組織委員会(以下、「委員会」と言う。)を設置する。

### (所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 大阪マラソン開催にかかる事業・運営計画の検討・実施及び同マラソンの開催に伴い実施する関連事業の企画・実施
- (2) その他、前項の目的を達成するために必要な事項

### (組織)

第3条 委員会は、別表に掲げる委員をもって組織する。

2 委員会に会長、副会長を置き、委員の互選によりこれらを選出する。

### (任期)

第4条 委員の任期は平成31年3月31日までとする。

2 委員会の委員は会長が委嘱する。

### (会長及び副会長の職務)

第5条 会長は、委員会を代表し、委員会を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名する副会長がその職務を代理する。

### (会議)

第6条 委員会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 会議は委員の過半数の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議決する。

なお、可否同数のときは、議長が決する。

3 会議に出席できない委員は、書面または代理人をもって表決に加わることができる。

4 前項の場合には、第2項の規定の適用については、出席したものとみなす。

5 会議は書面をもって会議に代えることができる。

### (関係者の出席)

第7条 委員会が必要であると認めた場合は委員以外の関係者の出席を求め、その意見等を聴取することができる。

### (専門部会等の設置)

第8条 委員会の事務を補助させるため、委員会に専門部会を置くことができる。

2 専門部会は、会長の命を受け、必要な事項を調査検討し、会長に報告する。

(監事)

第9条 事業の適正な執行を確保するため、監事2名を置く。

2 監事は、事業の執行状況及び会計の監査を行い、その結果を委員会に報告する。

3 事業報告書及び収支決算書については、監事による監査を経て、委員会に提出の上、その承認を受けるものとする。

(事務局)

第10条 事業の遂行に必要な事務処理を行うため、大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎35階に事務局を置く。

2 事務局には事務局長その他の職員を置く。

3 事務局長は、会長の命を受け、委員会の業務を総括的に処理する。

4 事務局長は、会長が任命する。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の実施に関し必要な細則等は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年9月10日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年1月24日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年2月14日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年5月30日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年6月7日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年2月16日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年7月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年8月10日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年9月11日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年11月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年6月13日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成25年9月11日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成26年3月27日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成26年6月9日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成26年10月25日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成27年2月10日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成27年6月12日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成27年10月24日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成28年3月29日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成28年6月27日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成28年10月7日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成29年2月8日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成29年7月4日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成29年11月9日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成30年6月29日から施行する。

別表(第3条関係)

役 職	氏 名	所 属
顧問	松井 一郎	大阪府知事
顧問	吉村 洋文	大阪市長
顧問	岩木 均	大阪府議会議長
顧問	角谷 庄一	大阪市会議長
会長	松本 正義	一般財団法人大阪陸上競技協会会長、 公益社団法人関西経済連合会会長
副会長	新井 純	大阪府副知事
副会長	鍵田 剛	大阪市副市長

役 職	氏 名	所 属
副会長	竹内 章	一般財団法人大阪陸上競技協会専務理事
委員	溝口 烈	読売新聞大阪本社代表取締役社長
委員	宮川 晴美	大阪市地域振興会会長
委員	千田 忠司	大阪市商店会総連盟理事長
委員	辰野 邦次	大阪府商店街連合会会長 大阪府商店街振興組合連合会理事長
委員	尾崎 裕	大阪商工会議所会頭
委員	黒田 章裕	一般社団法人関西経済同友会代表幹事
委員	福島 伸一	公益財団法人大阪観光局会長
委員	牧野 明次	公益財団法人大阪体育協会会長
委員	阪口 伸六	大阪府体育連合会長
委員	斉喜 博美	大阪府スポーツ推進委員協議会会長
委員	新堂 友衛	大阪市体育協会会長
委員	濱田 麗史	大阪市体育厚生協会会長
委員	八町 慎	大阪市スポーツ推進委員協議会会長
委員	橋爪 静夫	大阪府障がい者スポーツ協会会長
委員	山田 俊平	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会理事長
委員	茂松 茂人	一般社団法人大阪府医師会会長
委員	池田 豊人	国土交通省近畿地方整備局長
委員	坂野 公治	国土交通省近畿運輸局長
委員	幸 和範	阪神高速道路株式会社代表取締役社長
委員	岡本 圭司	大阪府府民文化部長
委員	酒井 隆行	大阪府教育委員会教育長
委員	柏木 陸照	大阪市経済戦略局長
委員	北田 耕之	一般財団法人大阪陸上競技協会副専務理事
委員	荒木 誠	株式会社ケイ・オプティコム代表取締役社長

役 職	氏 名	所 属
監事	児玉 達樹	大阪商工会議所常務理事・事務局長
監事	樋元 四郎	一般財団法人大阪陸上競技協会事務局長

## 平成29年度収支決算報告書【大阪マラソン組織委員会】(案)

平成29年4月 1日から  
平成30年3月31日まで

## 【収入】

(単位：円)

項目	予算額(A)	決算額(B)	差引(B-A)	備考
大阪府負担金	97,500,000	97,500,000	0	大阪府からの負担金
大阪市負担金	97,500,000	97,500,000	0	大阪市からの負担金
協賛金(VIK含む)	740,000,000	740,000,000	0	
参加料収入	402,000,000	382,921,393	▲ 19,078,607	
EXPOブース等販売収入	108,000,000	83,412,320	▲ 24,587,680	チャリティシューズ、キャップ、ワンドブレードカー、リンクホーム入りランパンバーカード、調整器バーナー等
関連イベント参加費	6,000,000	9,501,173	3,501,173	関連イベント
前年度繰越金	1,218,057	1,218,057	0	
その他収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
預金利息	0	414	414	
合計	1,452,218,057	1,412,053,357	-40,164,700	

## 【支出】

## 《第7回大阪マラソン開催事業費》(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

項目	予算額(A)	決算額(B)	差引(B-A)	備考
第7回大阪マラソン開催業務	1,384,000,000	1,340,837,152	▲ 43,162,848	
	2,600,000	794,900	▲ 1,805,100	前期分消費税
未払い金	0	0	0	
小計	1,386,600,000	1,341,632,052	▲ 44,967,948	

## 《第8回大阪マラソン開催準備事業費》(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

項目	予算額(A)	決算額(B)	差引(B-A)	備考
第8回大阪マラソン開催準備業務	25,000,000	192,538	▲ 24,807,462	
未払い金	0	26,746,286	26,746,286	
	0	888,600	888,600	後期分消費税、法人税等
小計	25,000,000	27,827,424	2,827,424	

## 《コース変更検討経費》(平成29年11月8日～平成30年3月31日)

項目	予算額(A)	決算額(B)	差引(B-A)	備考
コース変更検討経費	15,000,000	0	▲ 15,000,000	
未払い金	0	15,000,000	15,000,000	
小計	15,000,000	15,000,000	0	

## 《大阪マラソン組織委員会等運営経費》(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

項目	予算額(A)	決算額(B)	差引(B-A)	備考
報償費	700,000	546,200	▲ 153,800	委員会委員等への謝礼
旅費	200,000	151,240	▲ 48,760	委員会委員等への実費弁償
使用料及び貸借料	500,000	444,360	▲ 55,640	会場使用料
未払い金	0	48,080	48,080	
小計	1,400,000	1,189,880	▲ 210,120	

## 《大阪マラソン組織委員会事務局運営経費》(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

項目	予算額(A)	決算額(B)	差引(B-A)	備考
報酬	8,400,000	8,400,000	0	事務局人件費(2名分)
	2,560,000	2,585,000	25,000	医事救護従事者謝金
共済費	30,000	26,748	▲ 3,252	雇用必要経費(労働保険料)
報償費	1,200,000	1,219,440	19,440	顧問会計士報酬
旅費	2,800,000	2,554,083	▲ 245,917	職員旅費(管内・管外)等
需用費	1,028,057	1,124,077	96,020	消耗品等
使用料及び貸借料	1,200,000	1,225,806	25,806	コピー機レンタル料等
役務費(振込手数料、通信運搬費等)	1,800,000	1,751,412	▲ 48,588	郵送料等
租税公課	500,000	443,000	▲ 57,000	印紙代
委託料(第7回開催事業費等)	1,700,000	1,025,362	▲ 674,638	商店街関連事業委託等
委託料(第8回開催準備事業費等)	3,000,000		▲ 3,000,000	
未払い金	0	4,803,644	4,803,644	東京マラソンEXPO出展関係 3,483,810円 大阪マラソンアンケート 998,038円 その他 321,796円
小計	24,218,057	25,158,572	940,515	
合計	1,452,218,057	1,410,807,928	▲ 41,410,129	

次大会へ繰越金 1,245,429 円

## 監査報告書

大阪マラソン組織委員会  
会長 松本 正義 様

## 記

大阪マラソン組織委員会の平成29年度の事業の執行及び会計の状況等について監査を行いました。その結果について、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法の概要

大阪マラソン組織委員会における業務について、事務局職員からその職務の執行状況について、報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類などを閲覧する方法により、事業報告書及び収支決算報告書について監査をいたしました。

さらに金銭出納簿（銀行預金通帳）及びこれに関する収入及び支出の明細などの関係書類並びに独立監査人の監査報告書の確認を行い、当該事業年度に係る執行状況及び会計について監査をいたしました。

## 2. 監査の結果

平成29年度の事業の執行状況及び会計について、適正に執行されていると認めます。

平成30年6月13日

大阪マラソン組織委員会

監事

児玉達樹 印 

## 監査報告書

大阪マラソン組織委員会  
会長 松本 正義 様

### 記

大阪マラソン組織委員会の平成29年度の事業の執行及び会計の状況等について監査を行いました。その結果について、次のとおり報告いたします。

#### 1. 監査の方法の概要

大阪マラソン組織委員会における業務について、事務局職員からその職務の執行状況について、報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類などを閲覧する方法により、事業報告書及び収支決算報告書について監査をいたしました。

さらに金銭出納簿（銀行預金通帳）及びこれに関する収入及び支出の明細などの関係書類並びに独立監査人の監査報告書の確認を行い、当該事業年度に係る執行状況及び会計について監査をいたしました。

#### 2. 監査の結果

平成29年度の事業の執行状況及び会計について、適正に執行されていると認めます。

平成 30年 6 月 13 日  
大阪マラソン組織委員会

監事 樋元 四郎



## 独立監査人の監査報告書

平成 30 年 5 月 31 日

大阪マラソン組織委員会事務局

会長 松本 正義

西梅田合同会計事務所

公認会計士 徳山 博

公認会計士 蔡 田善史



私たちは、以下に掲げられている大阪マラソン組織委員会事務局の平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの第 7 期事業年度の財務諸表、すなわち、財産目録書、収支計算書について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

私たちの責任は、私たちが実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私たちに財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私たちの判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私たちは、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

私たちは、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、大阪マラソン組織委員会事務局の平成 30 年 3 月 31 日現在の財産状態及び同日をもって終了する事業年度の収支状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 平成30年度事業計画(案)

大阪マラソン組織委員会事務局

## 1. 事業活動方針

第8回大阪マラソン（平成30年11月25日）を開催するため、具体的な事業・運営内容等について検討・調整を行う。また、開催機運醸成のための事前イベントやチャリティマラソンとしての取組み等についても企画・実施する。また、大阪市中心部をゴールとするコース変更についても検討・調整を行う。

第8回大阪マラソン開催後は、第9回大会開催に向けた準備業務を行う。

## 2. 事業内容

### (1)大阪マラソン組織委員会事務局の主な所掌業務

#### ①総務企画部

- ・大阪マラソン組織委員会の運営に関すること
- ・大会情報の管理、調整及び発信に関すること
- ・スポンサー企業（協賛金等）に関すること
- ・ランナー募集に関すること
- ・チャリティ事業に関すること
- ・各種関連イベントに関すること
- ・事務局の予算、決算、財産管理及び契約に関すること

#### ②事業運営部

- ・コース沿道の行政、住民等との調整に関すること（新コース含む）
- ・大会に係る設営及び設備に関すること
- ・大会に係る警備に関すること
- ・ボランティアの募集、配置等に関すること
- ・警察、消防との連絡調整に関すること
- ・医事・救護計画に関すること

#### ③競技運営部

- ・競技運営計画に関すること
- ・選手招聘に関すること
- ・新コース企画に関すること

## (2)主なスケジュール

H30年

- 8月中旬～11月下旬 ■ ボランティア研修会、説明会の実施
- 9月初旬～ ■ 交通規制にかかる周知・協力をお願い
- 10月 ■ 府内商店街等との連携イベントの開催（随時）
- 10月下旬 ■ 大阪マラソン組織委員会（第25回）開催（書面）  
・第8回大阪マラソン詳細について
- 11月23日（金・祝） ■ 「大阪マラソン EXPO 2018」開催  
～  
25日（日） 場所：インテックス大阪
- 11月24日（土） ■ 「大阪マラソン SEASON TRIAL 2018  
Happy Morning Run」開催
- ウェルカムパーティ開催
- 11月25日（日） 「第8回大阪マラソン」開催  
沿道応援イベント『ランナー盛上げ隊！』開催  
「大阪マラソン SEASON TRIAL 2018  
チャリティ親子ラン開催

H31年

- 2月 ■ 大阪マラソン組織委員会（第26回）  
・「第8回大阪マラソン」の実施報告  
・「第9回大阪マラソン」大会要項の決定

## (3)「第8回大阪マラソン」放送(予定)について

11月25日（日）	MBS	放送時間調整中
	YTV	放送時間調整中
	e o光テレビ	8：40～16：10

# 平成30年度 収支予算(案)

資料5

平成30年4月 1日から  
平成31年3月31日まで

大阪マラソン組織委員会

(単位:円)

科 目	平成30年度 予 算 額	平成29年度 決 算 額	備 考
<b>1. 事業活動収入の部</b>			
行政負担金	230,000,000	195,000,000	大阪府(115,000,000円)、大阪市(115,000,000円)
協賛金収入(VIK含む)	740,000,000	740,000,000	協賛企業20社、協力企業7社
参加料収入等	390,000,000	382,921,393	
事業収入 (EXPOブース等販売収入)	90,000,000	83,412,320	
関連イベント参加料収入等	10,000,000	9,501,173	
預金利息等	0	414	
前年度繰越金	1,245,429	1,218,057	
<b>事業活動収入合計</b>	<b>1,461,245,429</b>	<b>1,412,053,357</b>	
<b>2. 事業活動支出の部</b>			
<b>【第8回大阪マラソン開催経費】</b>			
開催事業費	1,356,000,000	1,340,837,152	
(広報・イベント費)	328,000,000	325,010,270	大会広報費・ウェブ製作費、マラソンEXPO運営費等
(安全対策費)	215,000,000	210,178,438	交通規制広告ツール製作費、警備費等
(大会運営費)	713,000,000	708,324,269	コース運営費、参加ランナー記念品費、フィニッシュ会場運営費等
(エントリー・記録関係費)	100,000,000	97,324,175	エントリー事務処理費、記録計測費等
事務局費	18,927,372	18,597,023	組織委員会及び事務局運営費等
<b>小 計</b>	<b>1,374,927,372</b>	<b>1,359,434,175</b>	
<b>【第9回大阪マラソン開催準備経費】</b>			
開催準備事業費	30,000,000	26,938,824	第9回大会企画、大会広報費等
事務局費	4,618,057	7,751,429	組織委員会及び事務局運営費等
<b>【コース変更検討経費】</b>			
調査検討費	50,000,000	15,000,000	関係機関等協議調整費、図面作成費等
<b>小 計</b>	<b>84,618,057</b>	<b>49,690,253</b>	
租税公課	1,700,000	1,683,500	消費税等
<b>事業活動支出合計</b>	<b>1,461,245,429</b>	<b>1,410,807,928</b>	
<b>収支差額</b>	<b>0</b>	<b>1,245,429</b>	次年度へ繰り越し

## 第8回大阪マラソン 協賛企業一覧

### 【メインスポンサー】

株式会社ケイ・オブティコム

### 【オフィシャルスポンサー（18社）】

ミズノ株式会社

株式会社ダスキン

大和ハウス工業株式会社

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社

大阪市高速電気軌道株式会社

セイコーホールディングス株式会社

関西大学

株式会社アドバンスクリエイト

第一生命保険株式会社

近畿日本ツーリスト株式会社

株式会社フォトクリエイト

日本通運株式会社

トヨタ自動車株式会社

住友電気工業株式会社

岩谷産業株式会社

コスモ警備保障株式会社

アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc.

日清製粉グループ

### 【共催・協賛】

読売新聞社

# エントリー状況等について

## 1. エントリー状況

- エントリー期間:平成30年4月6日(金)～5月11日(金)

(インターネット(PC・スマートフォン)のみによる申込)

- 総エントリー数:127,757人 (定員32,000人)

(内 訳)

	マラソン【定員 30,000】					チャレンジラン【定員 2,000】
	個人	ペア(組)	グループ(組)	大阪スポーツ応援ランナー(※1)	チャリティランナー(※2)	
エントリー合計	97,492	11,562 (5,781)	11,149 (1,694)	358	266	6,930
	120,827					
	127,757					

(※1)大阪スポーツ応援ランナーは6月29日まで募集(定員600人)

(※2)チャリティランナーは8月31日まで募集(予定人数600人)

### 【参考】

#### (1) 都道府県別エントリー数

①大阪府(44,506人:39%) ②兵庫県(16,400人:15%) ③東京都(6,937人:6%)

※近畿2府4県からは、74,803人(66%)

#### (2) 海外からのエントリー

15,005人 《 ①香港(4,729人) ②台湾(4,481人) ③タイ(2,626) 》

※世界44の国・地域からのエントリー

## 2. 当落通知 <3万2千人のランナーを決定>

平成30年6月12日(火)から順次メールによる通知

# “大阪マラソンアンバサダー”結成！

「大阪マラソンアンバサダー」は、大阪マラソンの持つ様々な魅力をPRし、大会を盛り上げていただける方々です。

就任いただいた皆さまには、それぞれの得意分野を生かした活動により、大阪マラソンとともに盛り上げていただきます。

※第7回大会まで呼称していた“チャリティアンバサダー”および“なないろチームリーダー”を、“大阪マラソンアンバサダー”としてリニューアルいたしました。



ランナーとして盛り上げてくださる方々です。



応援など、様々なカタチで盛り上げてくださる方々です。



小淵 健太郎(こぶち けんたろう)  
ミュージシャンコブクロ



## 【メッセージ】

2年ぶりに大阪マラソンに参加させていただきます、コブクロの小淵健太郎です。

昨年はコンサートの日程と重なり、参加できず残念だったのですが、一緒に練習をしてきたflumpoolのボーカル山村隆太くんの自己ベスト更新や、仲間全員の自己ベスト更新など、多くの嬉しいニュースにコンサート後、歓喜しました。

今年は、私自身の初レースである2012年以来の「11月」のレース。初心に帰るようで、胸が踊っています。「一ヶ月多く練習できるぞ！」と。

そして「夢の御堂筋逆走」も、今年が最後だと聞いています。

様々な夢や希望を乗せて走る3万2千人のランナーの皆さんと共に、一歩一歩踏みしめながら、思い出に残るレースにしたいです。

今年は、太陽のように輝く元気な「KIAI(気合い)」をまとめて頑張ります！沿道から貰う声援一つ一つは、追い風そのものです。

是非、全てのランナーの汗に、勇気の風をお願いします！

## 【プロフィール】

1977年3月13日生まれ。宮崎県出身。

ストリートライブ活動を通じて1998年9月にコブクロを結成。

2001年3月メジャーデビュー。2006年のベストアルバム「ALL SINGLES BEST」は350万枚の売り上げ。

2007年「蓄」が日本レコード大賞を受賞。

2016年アルバム「TIMELESS WORLD」が25万枚の大ヒット。

2018年9月8日の結成20周年を目前に、初のバックバンドなし・小淵の演奏のみで全国ツアーを7都市14公演開催中。

第2回大阪マラソンチャリティランナー。第3回～第7回大阪マラソンチャリティアンバサダー。



Center  
iPS Ce  
Applic  
京都  
iPS

山中伸弥（やまなか しんや）  
京都大学iPS細胞研究所所長・教授



### 【メッセージ】

毎年、大阪マラソンに参加できることを楽しみにしていますが、昨年は大会直前に風邪をひき、自宅からランナーの皆様を応援しておりました。幸いなことに、今年も大阪マラソンアンバサダーとして出場させていただけることになり、大阪マラソンの素晴らしいコースをたくさんの応援の中、走ることを今から楽しみにしています。iPS細胞研究所も14ある寄付先団体の1つとして選ばれていますので、それぞれの団体の特長を知っていただき、ぜひ応援をお願いいたします。11月、一緒に気持ちよくゴールをめざしましょう！

### 【プロフィール】

1962年大阪市生まれ。1987年に神戸大学医学部を卒業後、国立大阪病院臨床研修医として勤務。その後、大阪市立大学大学院医学研究科博士課程を経て、米国グラッドストーン研究所に留学し、その後の人工多能性幹細胞(iPS細胞)の発見へつながる研究を開始した。1997年に帰国後、大阪市立大学医学部助手、奈良先端科学技術大学院大学遺伝子教育研究センター助教授、教授を経て、2004年に京都大学再生医科学研究所教授に就任。2006年に世界で初めてマウスiPS細胞作製成功を発表、続いて2007年にヒトiPS細胞作製成功を発表した。2008年1月に発足した京都大学物質-細胞統合システム拠点iPS細胞研究センター長に就任し、同センターの改組により、2010年4月に京都大学iPS細胞研究所所長に就任。2012年12月ノーベル生理学・医学賞を受賞。第2回大阪マラソンチャリティサポーター。第3回～第7回大阪マラソンチャリティアンバサダー。



間寛平（はざま かんぺい）  
タレント



### 【メッセージ】

間寛平です！

昨年に引き続き、今年で3年連続フルマラソンを走ります！

69歳になりましたが、衰えたと思われたくないの去年より良いタイムを出せるように頑張ります！「寛平ちゃんが頑張っているからオレらも頑張ってる」と同世代のおっちゃんによく声をかけてもらえるので、みなさんに「まだまだ頑張れる！」と勇気付けれるように、フルマラソンを走りきります！！気力だ！気力だ！気力だ～！

みなさんも一緒に大阪を盛り上げましょ～！

### 【プロフィール】

吉本新喜劇で人気を博し、テレビ、舞台など幅広く活躍。また趣味のマラソンにおいても、日本テレビ『24時間テレビ 愛は地球を救う』で1992年から始まった「チャリティーマラソン」に最初のランナーとして完走感動をよんだ。2008年には、マラソンとヨットで世界を一周する「アースマラソン」をスタートし、途中、前立腺がんを患いながらも、2011年1月に完走。第6回、第7回なないろチームリーダー。



中村 鷹治郎(なかむら がんじろう)  
歌舞伎俳優



### 【メッセージ】

大阪マラソンアンバサダーとして今年も参加させて頂けますこと、誠に感謝しております。

今年の海外エントリー数が過去最大数ということで、多くの海外ランナーが大阪マラソンに参加したいと思ってくれていることが嬉しい限りです。私自身も歌舞伎の海外公演を通じて、海外の皆さまが日本文化に大変興味をお持ちであることを感じております。今年も、「松竹大歌舞伎 近松座訪露公演」に出演が決まっておりますが、両国の相互に大きな役割を担っているとされておりまして。私に出来ることは、このような機会を通じて、大阪マラソン、そして、大阪の文化・魅力発信に努めることかと存じます。

大会がより一層盛り上がるようアンバサダーの大役を精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 【プロフィール】

昭和34年2月6日生まれ。坂田藤十郎の長男。四代目。屋号は成駒家。昭和42年11月歌舞伎座『紅梅曾我』の一萬丸で中村智太郎を名乗り初舞台。平成7年1月大阪・中座『封印切』の忠兵衛ほかで五代目中村翫雀を襲名。平成27年1、2月大阪松竹座において、『封印切』の忠兵衛、『廓文章』の伊左衛門で、上方歌舞伎を代表する名跡のひとつ、中村鷹治郎を四代目として襲名。立役、女方を問わず幅広い役どころで活躍。明朗な個性と温かな芸風、情の深い演技が際立つ上方役者。本年9月、「ロシアにおける日本年」の認定事業として、「松竹大歌舞伎 近松座訪露公演」に参加するなど海外公演も数多く経験。第4～7回大阪マラソンチャリティアンバサダー。



アンミカ(あんみか)  
モデル タレント



### 【メッセージ】

第8回大阪マラソンも引き続き、初代大阪観光大使として大阪マラソンアンバサダーを努めさせて頂くことになりました！

今や世界に誇るチャリティマラソンとなった大阪マラソンは、参加するすべてのランナーがチャリティに参加する、走ることが誰かのためになるマラソンです。走る人、支えるボランティアの人、応援する人みんなが、チャリティを通じて心一つになり、愛溢れる場になる大阪マラソンが、毎年楽しみで仕方ありません！

皆様が笑顔で今年も走り抜けられるように、私も参加し地元大阪を盛り上げるべく応援させていただきます！

皆様と大阪マラソンでお会い出来ることを楽しみにしています！

### 【プロフィール】

韓国出身・日本育ちのモデル/タレント。93年にパリコレに初参加以後、モデル業以外にも、テレビ・ラジオ出演、ジュエリー/ファッションデザイナー、化粧品プロデューサー、エッセイ執筆や講演、シンガーとしての活動など、様々な方面で活躍。世界標準マナーのEPM プロトコールアドバイザー、漢方養生指導士、ジュエリーコーディネーター、日本化粧品検定、NARD アロマアドバイザーなど 女性を美しくする資格を持つ。初代大阪観光大使。第4回～第7回大阪マラソンチャリティアンバサダー。



赤星憲広(あかほし のりひろ)  
野球解説者



**【メッセージ】**

赤星憲広です。今年も大阪マラソンにアンバサダーとして参加させていただくことになりました。毎年こうして大阪を代表する大きなイベントに携わることができ、大変うれしく思っています。

僕は現役時代から車いすの寄贈活動を行っており、その一環として現在は兵庫県小野市でチャリティマラソンを開催しています。そうした活動や、この大会に参加することで少しでもチャリティの輪が広がることを願っています。

毎年大阪マラソンでは、参加者の方だけでなくボランティアや沿道で応援されている方からこちらも元気をもらっていますので、僕も皆さんの熱気に負けないよう今大会も精一杯取り組みたいと思います。

今年も皆さんとお会いできるのを楽しみにしています！

**【プロフィール】**

1976年4月10日生まれ、愛知県出身。2001年、阪神タイガースに入団、1年目に盗塁王と新人王を獲得。セ・リーグ記録となる5年連続盗塁王に輝き、ベストナイン2回、ゴールデン・グラブ賞6度受賞。2009年、試合中のダイビングキャッチで脊髄を損傷し、同年、現役を引退。現役時代は、盗塁した数の車椅子を病院や施設に寄贈。引退後も「Ring of Red～赤星憲広の輪を広げる基金」を設立し、社会貢献に力をそそいでいる。現在は野球解説者として活躍する一方、車いすの寄贈活動、野球界発展を目指した少年野球チーム設立など、自身のあらゆる経験を活かし、各種メディアにも出演している。

2017年4月関西大学客員教授に就任。2016年からは「Ring of Red 小野マラソン」でも大会アンバサダーを務める。第2回大阪マラソンチャリティランナー、第3回～第7回大阪マラソンチャリティアンバサダー。



寺川 綾(てらかわ あや)  
ミズノスイムチーム・コーチ



**【メッセージ】**

今年も昨年に引き続き、アンバサダーに就任させていただく事になりました！

去年はボランティアや沿道の皆さんとともに、沿道からランナーを応援したことがとても楽しく、私自身が元気を頂きました。

私は現役時代、多くの方々のサポートのおかげで水泳競技に挑むことができました。

ですので、支えてもらえる事の有難さが身に染みて分かります。

今回もボランティアさんや沿道の皆さんとともに、ランナーを全力で応援したいと思っております！

ランナーの皆さん、本番に向けた練習を頑張ってくださいね！

そしてボランティアの皆さん、支える側も主役です！

さあ、大阪マラソンを一緒に盛り上げていきましょう！！

**【プロフィール】**

1984年、大阪府大阪市生まれ。3歳から水泳を始め、中学時代より頭角を現す。

2001年、高校2年時に世界水泳選手権出場。2002年パンパシフィック選手権銀メダル、2004年アテネオリンピックでは、8位入賞(いずれも200m背泳ぎ)など数々の国際大会で活躍。大学卒業後はミズノ(株)に入社。2008年北京オリンピック出場を逃すが、喘息治療を行うとともに、北島康介選手を育てた平井コーチに師事し、見事に復活を遂げる。

2009年、2010年は日本選手権で“背泳ぎ三冠”を達成。2011年世界選手権では50m背泳ぎで銀メダル。2012年ロンドンオリンピックでは100m背泳ぎで銅メダルに輝き、400mメドレーリレーでは、第1泳者として銅メダル獲得に貢献。2013年世界選手権では、50m、100m背泳ぎの2種目で銅メダルに輝いた。同年、12月に引退を表明した。

現在、ミズノ(株)スイムチームコーチとして後進の指導及びスポーツの振興に尽くす。テレビ朝日報道ステーションスポーツキャスターとしても活躍中。第6回、第7回大阪マラソンチャリティアンバサダー。



ジミー大西(じみー おおにし)  
画家



**【メッセージ】**

ジミー大西です！大阪マラソンアンバサダーとして、大阪の町と大阪の皆様と、大阪のランナーと出会う事が出来て、ゴツツイ嬉しいです！また、楽しく走れる事を楽しみにしています！そして、力いっぱい元気に、大阪の町を皆様と一緒に盛り上げて行きたいと思っています！

**【プロフィール】**

タレントとして人気を集めるが、テレビ番組で描いた絵をきっかけに創作活動を始め、1996年芸能界を引退し画業に専念。切手・銀行通帳・CDジャケット・ポスター・ワインラベルなどのデザイン、バス・モノレール・車・世界最大級の天然ガスタンカーの外装デザイン、オブジェ・モニュメントや公共作品の制作を含め活動範囲は多岐にわたる。

日本のみならず海外での展覧会や制作活動に加え、絵本の出版や子供達との共同制作イベントを実施、セレクトショップや有名ブランドとコラボレーションを展開するなど独特の作風で精力的に活躍中。鮮やかな色彩と独創的な構図が魅力の作品は、各方面から高い評価と支持を得ている。現在は芸能界での活動を再開し、テレビ番組、劇場等で活躍もしている。1999年 ブラジル・パラ州政府より文化功労賞受賞。第5回～第7回大阪マラソンチャリティアンバサダー。



岡崎朋美(おかざき とみみ)  
タレント



**「メッセージ」**

3年連続で大阪マラソンに参加させて頂きます、元スピードスケートの岡崎朋美です。昨年はフルマラソンに出場しましたが、やはりスプリンターの私にとって持久力勝負のマラソンは難しいですね。なんとか完走は出来ましたが、ゴールした際はへろへろでした(笑)今年大阪マラソンアンバサダーに任命して頂き、とても光栄に思っています。私も現役時代は観客のみなさんの応援が後押ししてくれました。沿道のみなさまの応援がランナーに力を与えてくれます！是非とも大阪マラソンを盛り上げましょう！

**【プロフィール】**

10歳より本格的にスケートを始め、5度の冬季オリンピックに出場。98年長野五輪ではスピードスケート女子500メートルにて日本女子短距離初の表彰台となる銅メダルを獲得。2006年のトリノオリンピックでは日本選手団主将、10年バンクーバー五輪では日本選手団旗手を務めるなど活躍したが、13年に現役を引退した。第6回、第7回なないろチームリーダー。

## 大会盛上げ事業について

### ◆大阪マラソン EXP02018

- ・概要：第8回大阪マラソンのランナー受付と同時に開催するイベント。  
スポーツメーカーなどが出展するイベントブースや展示即売会、府内市町村などが出展する観光ブース、大阪の食を紹介するコーナーなどを設置することにより、マラソン大会の盛り上げを図るとともに、大阪の都市魅力を発信する。
- ・実施日時：平成30年11月23日（金・祝）～25日（日）  
11:00～20:00（19:30 最終入場。ただし、25日（日）は 10:00～17:00（16:30 最終入場））
- ・場所：インテックス大阪（大阪市住之江区南港北1-5-102）  
1号館：うまいもん市場 23日（金・祝）～25日（日）  
2号館：スポンサー展示エリア 23日（金・祝）～24日（土）  
3号館：参加ランナー受付・スポンサー展示エリア  
23日（金・祝）～24日（土）
- ・入場料：無料
- ※企業等の出展申込みは、平成30年7月31日（火）まで受付  
（うまいもん市場は、平成30年8月24日（金）まで受付）

### ◆大阪マラソン沿道応援イベント『ランナー盛上げ隊！』

- ・概要：大会当日、マラソンコース沿道に設置された会場において、ランナー及びマラソン大会を大阪ならではのパフォーマンスで盛り上げる。
- ・実施日時：平成30年11月25日（日）  
9:00～16:00頃
- ・場所：マラソンコース沿道14か所(予定) ※屋外会場
- ・内容：大阪マラソンの「虹」にちなみ、7つのジャンルで出演団体等を募集  
① 応援団・チアリーダーディング ②ダンス ③踊り(よさこい等)  
④吹奏楽 ⑤和太鼓 ⑥コーラス ⑦音楽バンド  
第4回大会から、7カ所の会場を「なないろ応援ステーション」として、ステーションごとのテーマカラーを設け、「ランナー盛上げ隊！」もテーマカラーに応じた衣装やグッズを使って応援。
- ・出演団体：約80組 先着順

## ◆商店街等との連携イベント

### 【大阪マラソン応援イベント】

- ・概要：府内商店街に大阪マラソンののぼりを掲出するとともに、イベントにおいて、大会PR物品を配布するなど大会のPRと開催機運の醸成を図る。
- ・開催期間：平成30年9月29日（土）～11月25日（日）
- ・内容：大阪マラソンののぼりの掲出、大阪マラソンPR物品の提供。大阪マラソン応援イベント用ロゴ使用、チャリティ募金活動などを行う。（任意）
- ・実施数：25イベント(予定)

### 【大阪マラソン公式給食エイド『まいどエイド』】

- ・概要：32.5km地点において、「大阪を元気にする」という目的で、大阪市商店会総連盟が大阪マラソン公式給食エイドを運営、大阪ならではの食材をランナーに提供。
- ・開催日：平成30年11月25日（日）
- ・内容：今年度については、まいどエイド世話人会にて決定する。（予定）  
（参考）昨年度は、プチトマト、たこ焼き、きゅうりアイス、おやついなり、あめちゃんなどの27品目、提供給食数141,000点。

## ◆「大阪盛上げ隊！」のチャレンジラン出場

- ・概要：大阪のスポーツ、体育の振興に対して顕著な功績が認められた高校（運動部）が、大阪マラソンチャレンジラン（8.8km）に出場し、大阪全体を盛り上げる。
- ・出場校数：3校以内（1高校あたり10名程度）
- ・競技種目：野球、サッカー、ラグビー、バレーボール、ハンドボール、バスケットボール、陸上競技（駅伝）などの団体競技
- ・選考基準：世界選手権、全国大会等で大阪代表として準優勝以上の成績を収めることで、大阪全体を盛り上げたと認められること

※第7回大会では東海大学附属仰星高等学校ラグビー部、大阪薫英女学院高等学校陸上部がチャレンジランに出場。

## ◆大阪マラソン SEASON TRIAL 2018

昨年度に引き続き、今年も「大阪マラソン SEASON TRIAL 2018」と称して、初心者・中・上級者の方、さまざまな目的やレベルに合わせてご参加いただける各種ランニングイベントを、年間通じて開催。「興味はあるけど、きっかけがない・・・」という女性初心者に向けたプログラムにも今年から新たに取り組み、より多くの方々のランニングライフをサポート。

## 【Happy Morning Run】

- ・概要：昨年大好評だった、海外ランナーと国内ランナーの交流ランニングイベント。国境をこえて、仲間たちと一緒に大会前日の朝、大阪城を走るファンランイベント。  
※第8回大阪マラソン(チャレンジラン含む)に出場しない方は、参加予定のランナーを代表者とし、一緒に申込み。小学生以上。
- ・実施日時：平成30年11月24日(土) 8:00~10:00
- ・場所：大阪城公園
- ・内容：Fun RUN (2.8km) ※表彰・計測なし

## 【チャリティ親子ラン】

- ・概要：子どもたちにも大阪マラソンの大フィナーレとなるフィニッシュゲートをくぐる楽しさを味わってもらえる親子ランニングイベント。
- ・実施日時：平成30年11月25日(日)  
15:00~15:50頃(予定)
- ・場所：インテックス大阪臨時第1駐車場~マラソンフィニッシュゲート(約1.2km)

## 【(実施済)ケイ・オブティコム Presents 10K&Fun RUN】

- ・概要：ランナーからの希望にこたえ、10kmランを日本陸連公認大会として開催。家族や親子、友人と楽しく走る約3.2キロのファンランは、今年から小学生の参加料が半額となり、更に親子で参加いただきやすくなりました。また、参加者の中から抽選で30人に第8回大阪マラソン出場権のプレゼントやお楽しみ抽選会など盛りだくさんの企画で初心者から中・上級者までたくさんの方が楽しめるファンランイベント。
- ・実施日時：平成30年6月17日(日) 8:00~13:00
- ・開催場所・コース：ヤンマースタジアム長居・長居公園周回コース
- ・内容：10K (10km (日本陸連公認コース)、表彰・計測あり)、Fun RUN (約3.2km、表彰・計測なし)、給水体験、おもしろ仮装表彰 (Fun RUNのみ、後日HPにて発表) 等

## 【なないろ練習会】

- ・概要：幅広いランナーを対象にした練習会を大阪マラソンの7色のカラー別に各2回、総括編として1回の計15回実施。  
「大阪マラソン完走を目指すポイント」や「ランニングフォームの動きづくり」など、ミズノランニングステーションの講師がランナーをサポート。  
前半7回の練習会うち、4回(予定)参加した方を対象に、抽選にて15名の方に出場権を進呈。
- ・実施日時
  - ① 紫色練習会 平成30年7月1日(日) 9:00~12:00(予定)
  - ② 紺色練習会 7月8日(日) 9:00~12:00(予定)

- ・場 所：ミズノ淀屋橋店（座学） 中之島公園～大阪城公園（走行）  
ミズノ茶屋町店（座学） 淀川河川敷（走行）
- ・予 定：7月1日(日)～10月13日(土) 計15回

### 【(一部実施済)ランニングクリニック】

- ・概 要：18歳以上のランニング未経験者、初心者～中級者（フルマラソン4時間台）を対象に、講義と実技の両面でランニング教室を開催。
- ・実施日時：平成30年6月17日（日）14:00～16:00
- ・場 所：ヤンマースタジアム長居
- ・講 師：SWAC 木下裕美子さん(第7回大阪マラソン女子優勝)ほか
- ・内 容：講義：「ランニングの基礎知識、トレーニング法の解説」  
実技：「レベル別ランニング・1000m走」
- ・予 定：8月4日（土）、10月28日（日） 計3回予定

### 【女性向け練習会(仮)】

- ・概 要：第8回大阪マラソンに出場する女性ランナー限定の練習会を新設。ミズノランニングステーションの女性講師が、女性ならではの目線で、事前準備や練習方法はもちろん、身体的、精神的にもマラソンに挑戦する女性をサポート。計2回の練習会と交流会をセットにし、仲間と楽しむ大阪マラソンを体験。
- ・実施日時：① 平成30年9月 8日（土） 9:00～12:00（予定）  
② 10月 27日（土） 9:00～12:00（予定）
- ・場 所：ミズノ茶屋町店（座学） 淀川河川敷（走行）

## ボランティアについて

■募集人数 1万人（団体・個人）

## ■活動日

第8回大阪マラソン 11月25日（日）

大阪マラソンEXPO2018 及び準備 11月22日（木）23日（金・祝）、24日（土）

## ■主な活動区分・内容

〔大会運営ボランティア〕 ランナー受付、給水・給食、コース沿道整理など

〔力持ちボランティア〕 コース横断が必要な方に対する自転車等の運搬の補助

《学生等が活躍しているボランティア活動》

（支援学校ボランティア ランナー配布物の袋詰めなど）

（語学対応ボランティア 語学力を活かしての海外ランナーへの対応）

## ■募集受付期間

団体ボランティア 6月7日（木）から

個人ボランティア 7月12日（木）から

## ■説明会等

個人リーダー選考会兼研修会 8月19日（日）

初心者ガイダンス 9月16日（日）

団体・個人リーダー説明会 10月27日（土）・28日（日）、11月3日（土）・4日（日）

個人ボランティア説明会 11月23日（金・祝）・24日（土）

## ■その他

初心者ガイダンスと「大阪マラソンPUSH+応急手当講習会」の同日開催

## 府内マラソン大会等との連携について

## ■連携しているマラソン大会

開催日(予定)	名 称	距 離	主 催	場 所
H30.10.28	第 9 回 かまいし仙人峠マラソン	17.2Km	かまいし仙人峠マラソン実行委員会	岩手県釜石市
H30.11.4	第 22 回 大阪・淀川市民マラソン	フル	大阪・淀川市民マラソン実行委員会 一般社団法人ふるさ都・夢づくり協議会	国営公園「淀川河川公園」 (枚方～大阪市)
H31.1.13	第 66 回信太山クロスカン トリー大会 in 大阪和泉	20Km	信太山クロスカントリー大会委員会	陸上自衛隊 信太山演習場
H31.1.14	第 42 回「新春走ろうかい」 ひらかたハーフマラソン	ハーフ	公益財団法人枚方体育協会	大阪府枚方市 淀川河川敷
H31.1.20	第 27 回 高槻シティ ハーフマラソン	ハーフ	高槻シティハーフマラソン 実行委員会	大阪府高槻市内
H31.2.17	第 64 回 河内長野シティマラソン	ハーフ	河内長野市・河内長野シティマラソン 実行委員会	大阪府河内長野市
H31.2.17	第 26 回 KIX 泉州国際マラソン	フル	一般社団法人 KIX 泉州ツーリズムビュー ロー・泉州 9 市 4 町陸上競技協会	泉州地域
H31.2.17	2019 柏原シティ キャンパスマラソン	10Km	柏原市・柏原市教育委員会・柏原シテ ィキャンパスマラソン実行委員会	大阪府柏原市
H31.2.24	寝屋川ハーフマラソン 2019	ハーフ	寝屋川市・寝屋川市教育委員会・ 寝屋川ハーフマラソン実行委員会	寝屋川公園から 寝屋川市街地 (公道)
H31.4 月 (予定)	交野マラソン 2019	10km	交野マラソン実行委員会	いきいきランド交野 及び交野市域 (公道)

## 第 9 回大阪マラソンコース変更の概要

### 1. フィニッシュ地点の変更

第 20 回組織委員会（平成 29 年 2 月 8 日）での提案を受けて、セントラルフィニッシュの導入を図ることとし、大阪城公園と長居公園の 2 箇所を候補として検討を進めてきたが、大阪城公園をフィニッシュ地点として決定する。

（理由）

- ・大阪城は、大阪の歴史的シンボルとして、また、四季折々の景観に優れ、多くの観光客が訪れる大阪の代表的な観光スポットとして話題性があること
- ・交通アクセスに優れていること（Osaka Metro：中央線、谷町線、長堀鶴見緑地線、J R 西日本：大阪環状線、東西線、学研都市線、京阪：本線）
- ・大阪の魅力（食文化や歴史等）を感じられるスポットに近く、フィニッシュ後に立ち寄りやすいこと

### 2. 新たなコースにおける主なランドマーク

新たなコースラインについては、今後関係機関との協議調整や諸手続きを経て決定されることになるが、大阪の魅力をアピールするため大阪の名所（ランドマーク）を臨むことのできるよう、従来の中央公会堂、御堂筋、京セラドーム大阪等に加え、銀橋（毛馬桜之宮公園）、造幣局、あべのハルカス、四天王寺、大阪ビジネスパーク等を新たに設定予定とする。



大阪マラソンチャリティ事業構想  
2018-2020

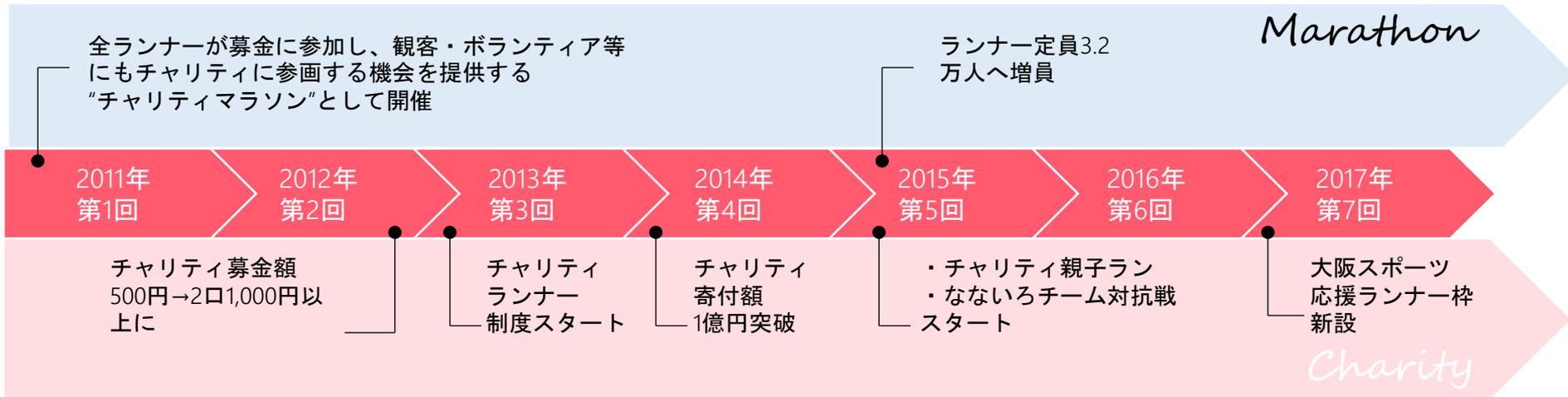
2018.06.11



# 目次

チャリティ活動の歴史	P 3
チャリティ活動の実績①～⑥	P 4
これまでの資産・現状の課題	P10
実施方針・目指すべき方向性	P11
スローガンとメッセージ	P12
2018－2020 チャリティの新たな取り組み	P13
第8回大会 新チャリティプログラム（案）	P14
第9回大会 新チャリティプログラム（案）	P15
第10回大会 新チャリティプログラム（案）	P16

# チャリティ活動の歴史



## TOPICS

第1回：全ランナーが募金に参加し、観客・ボランティアにもチャリティに参加する機会を提供する“チャリティマラソン”として開催

第2回：チャリティ募金額500円→2口（1,000円）以上に

第3回：7万円以上の寄付金を集めると出走できるチャリティーランナー制度開始

第4回：チャリティ寄付額1億円突破

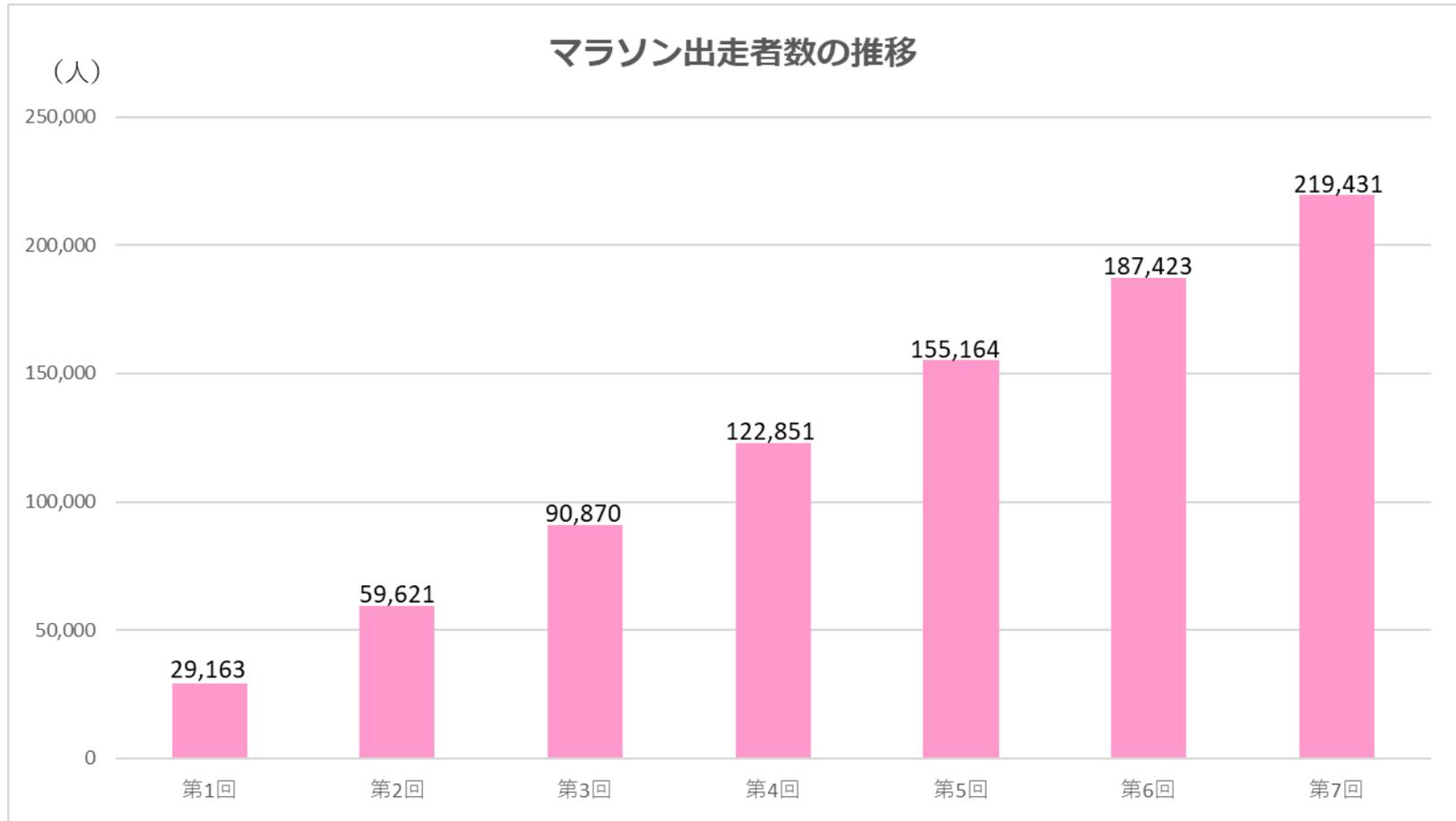
第5回：ランナー定員増に伴い、チャリティに参加する人数も3万人→3.2万人に  
チャリティ親子ラン、なないろチーム対抗戦もスタート

第6回：チャリティランナー数が600人超え

第7回：チャリティ寄付額過去最高の1.67億円を突破

# チャリティ活動の実績①

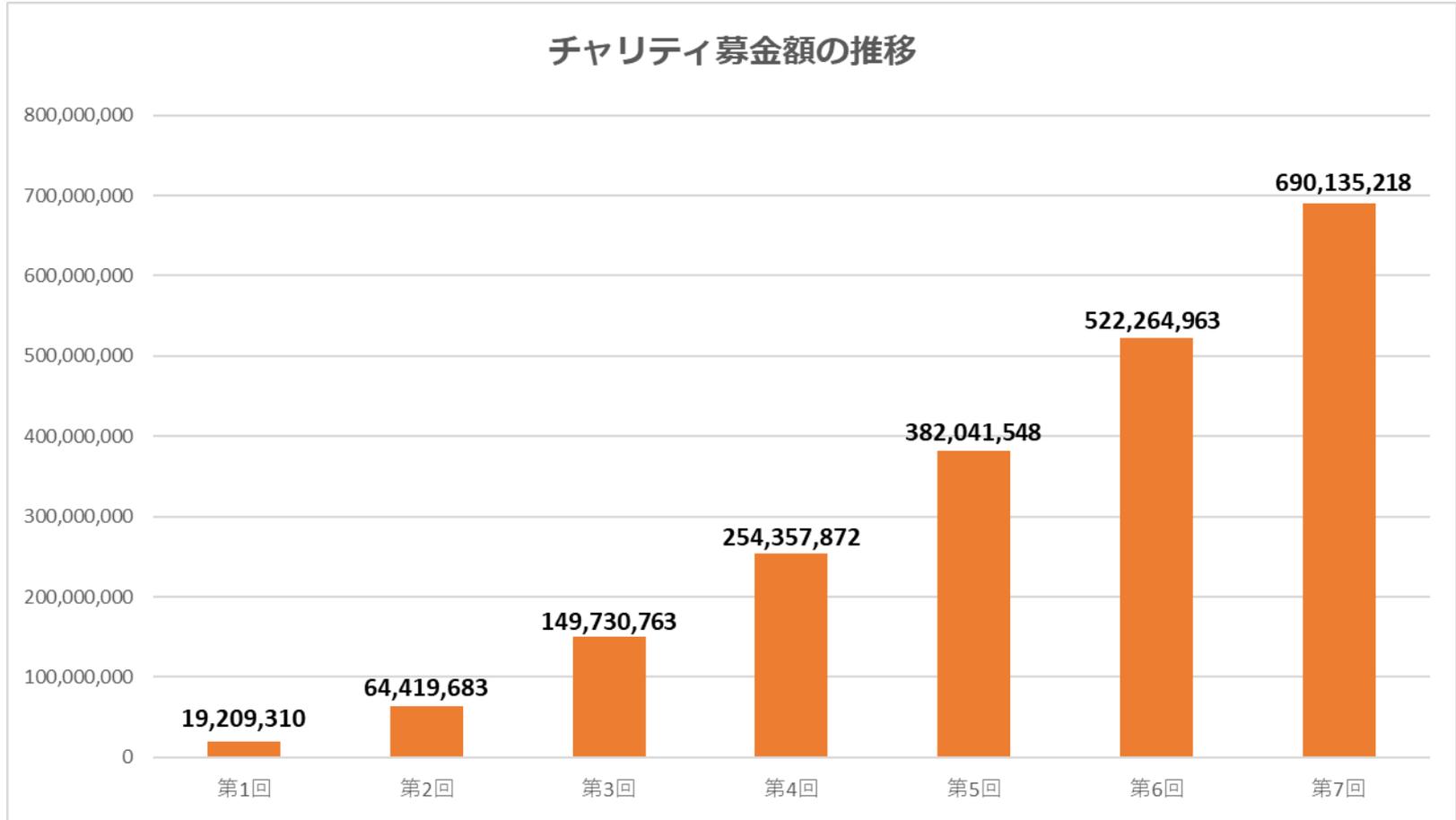
大阪マラソンを通じて募金をしたランナーは、**累計219,431名。**



第8回以降も3.2万人のランナーが出走すれば、**第10回大会で30万人突破！**

## チャリティ活動の実績②

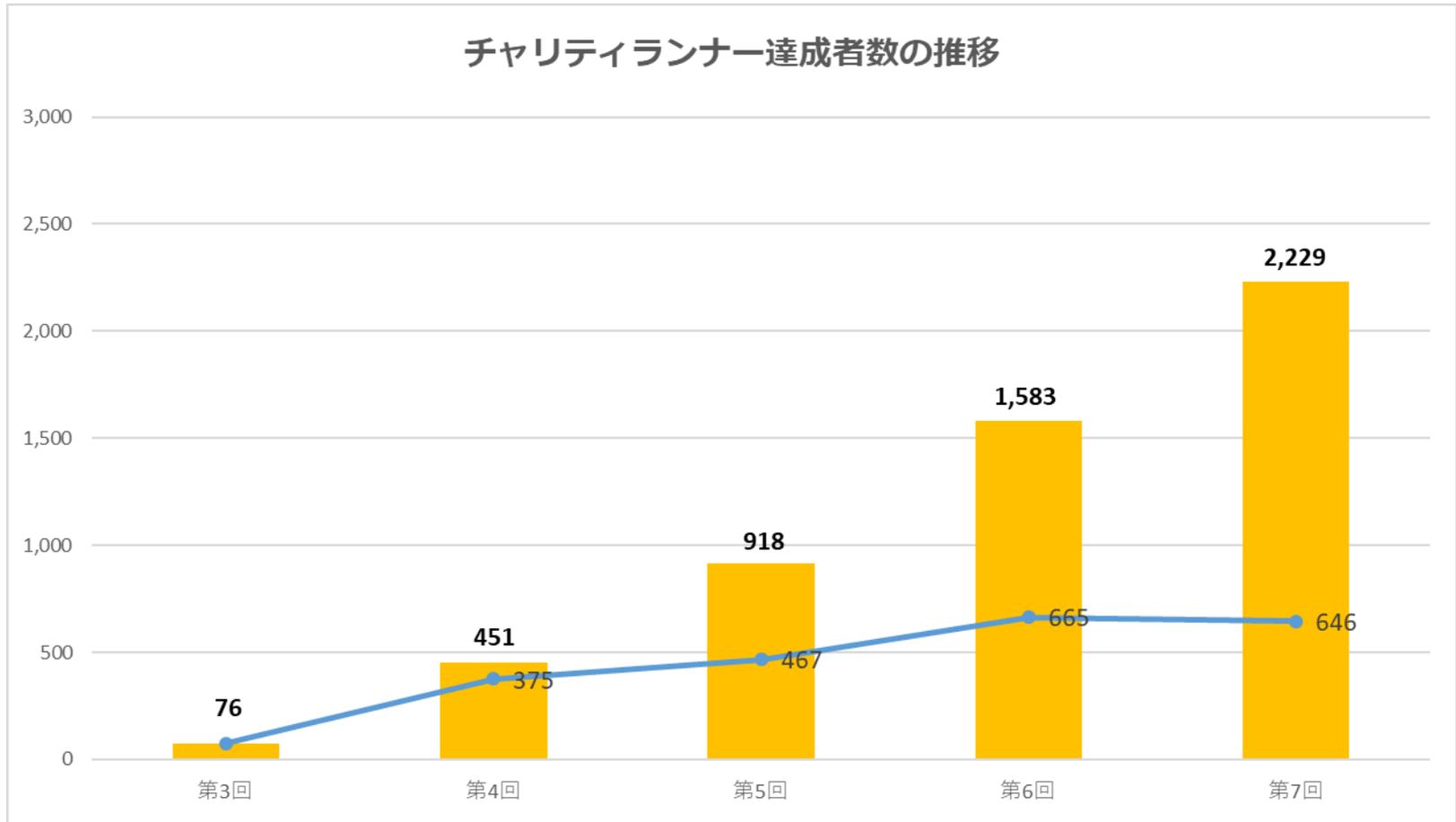
チャリティ募金額は、第4回以降**毎年1億円**超え、**総額6.9億円**を達成。



第8回以降も1大会につき約1.35億円（※直近4大会の平均募金額）の寄付金が集まれば、  
**第10回大会で10億円突破！**

## チャリティ活動の実績③

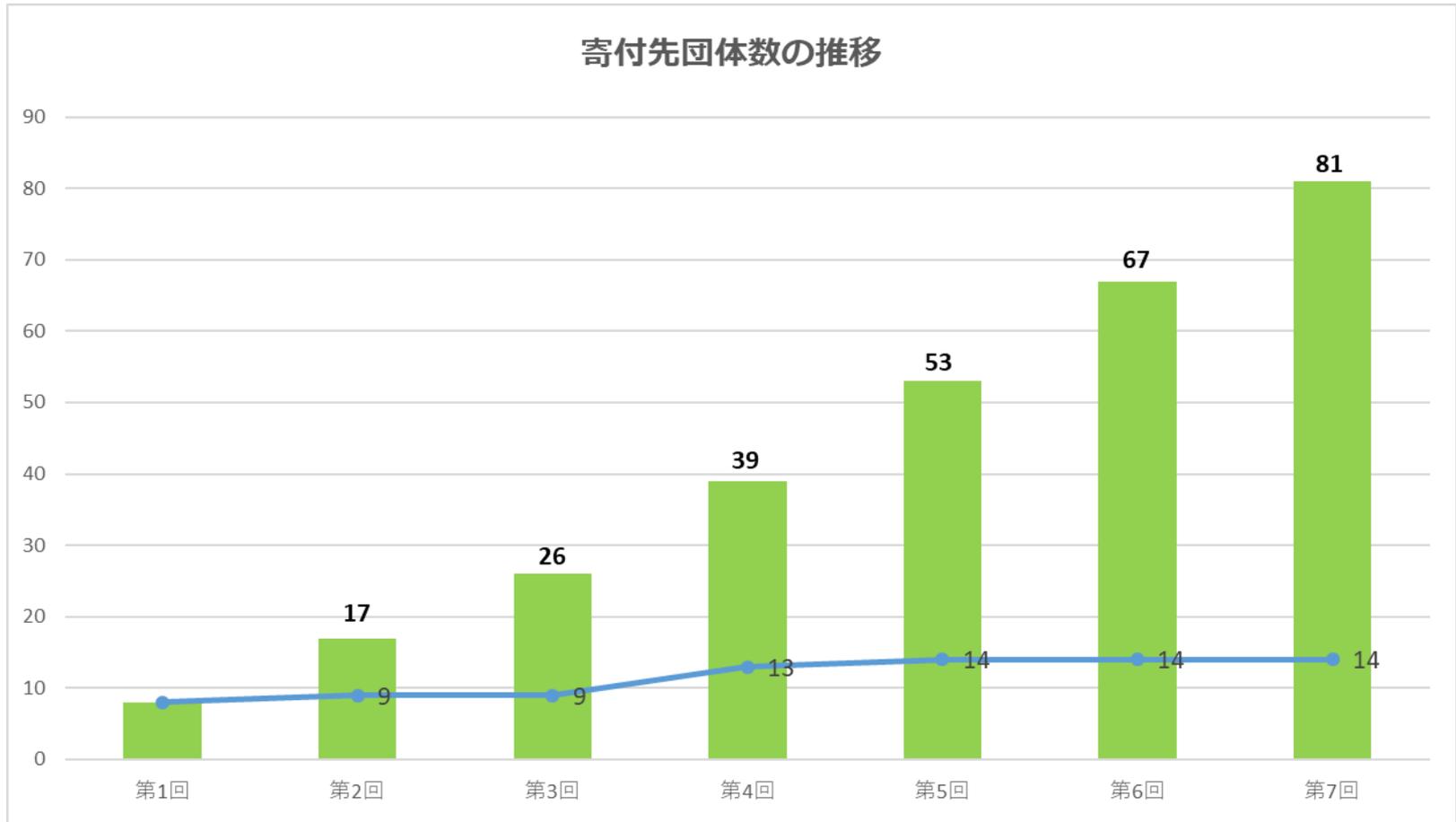
チャリティランナーは第6回以降**600人超え**、**累計2,229名**。



第8回以降も1大会につき600名のチャリティランナーが出走すれば、  
**第9回大会で3,000人超え、第10回大会で4,000人を突破！**

## チャリティ活動の実績④

これまでに支援した団体数は、**累計81団体**。



第8回以降も1大会につき14団体以上の寄付先団体を支援すれば、  
**第9回大会で100団体を突破！**

# チャリティ活動の実績⑤

## ●チャリティアンバサダーの起用

大阪にゆかりがある、あるいは、チャリティ活動をしている著名人を起用し、チャリティプログラムを盛り上げてきました。



## ●チャリティポスターの制作

より多くの方に大阪マラソンに親しみを持って頂くことを目的に、大阪の障がい者アーティストとコラボレーションしてチャリティポスターを制作。

デザインは、大阪府「現代アートの世界に輝く新星発掘プロジェクト」公募入選作品展の入選作品を採用。

第6回大会採用作品  
出口 彩乃さん作  
『笑顔です』



## ●チャリティグッズの制作

売上金額（一部制作費を除く）がチャリティ寄付金となるグッズを制作・販売。毎年デザインが変わるなないろチャリティTシャツをはじめ、年々アイテム数も増加し、チャリティの拡大に貢献。



●なないろチャリティTシャツ  
販売価格：4,000円  
(制作費等を除く2,000円を寄付)



●なないろチャリティキャップ  
販売価格：2,000円  
(制作費を除く売り上げの一部を寄付)



●チャリティウィンドブレイカー  
販売価格7,500円  
(制作費等を除く3,500円を寄付)



●ニックネーム入りナンバーカード  
販売価格500円  
(制作費等を除く売上の一部を寄付)

# チャリティ活動の実績⑥

## ●チャリティブースの設置

EXPO会場内の一角に寄付先団体の活動内容を紹介するチャリティブースを設置（1つのブースに2団体×7カラー）。エントリー時にその色を選択したランナーの名前をブースの壁に掲出したり、チャリティランナーへのTシャツ・リストバンドをブースで手渡しすることで、寄付先団体との交流を促進。



## ●チャリティステージ

大阪マラソンEXPOのステージでチャリティアンバサダーのトークやベストチャリティランナー賞の表彰、チャリティオークションを実施。チャリティアンバサダーらのサイン入りグッズなどを出品、落札金額がチャリティ募金に。（2017年度募金額：73,500円）



## ●EXPO・沿道での募金活動

チャリティブース内に設置した7つの募金箱をはじめ、各所で募金を展開。インテックス大阪2号館館内のチャリティ募金コーナーでは、500円以上チャリティ募金をいただいた方にはなないろハイタッチ手袋を進呈。



## ●なないろ応援ステーションとハイタッチ手袋

7色のテーマカラーを使った様々なパフォーマンスで32,000人のランナーを応援する「なないろ応援ステーション」。500円以上の寄付をいただいた方には「なないろハイタッチ手袋」をお渡し。



- <展開>
- ・寄付先団体チャリティブース
  - ・インテックス大阪2号館内 チャリティ募金コーナー
  - ・インテックス大阪総合案内 チャリティ募金コーナー
  - ・関西大学学生ボランティアによる募金活動

## —これまでの資産—

- 全ランナーがチャリティに参加するという、他には無い大会※として発足、継続発展してきた
- そうしたランナーを支える（ランナーに大阪で走りたいと思わせる）大阪の熱い応援
- ランナー以外の方々も幅広くチャリティに参加いただけるよう、様々なチャリティプログラムを仕掛けてきた

※参考 世界最大の慈悲イベントと呼ばれるロンドン・マラソンでも、チャリティに関与するランナーは全体の約75%。  
東京マラソンは全ランナーのうち、約12%がチャリティランナーとしてチャリティに貢献。



## —より一層の発展を目指す上での課題—

- “大阪マラソン=チャリティマラソン”というレベルに浸透していない現状
  - チャリティランナー：より多くの方から寄付を募る（チャリティの普及を図る）より、自身一人で募金する人が過半数を占める
  - 寄付先団体：応募団体数が低調（新規団体の応募が増えず、チャリティの裾野が広がっていない）
  - 一般の方々：130万人を超える沿道の観客の方々等が気軽にチャリティに参画する機会が少ない
- 寄付したお金の使用用途や結果（効果・変化）がわかりづらい

## —実施方針—

- チャリティを再定義  
⇒大阪ならではの“おもてなし”や“おせっかい”（＝サポートや応援）もチャリティと定義
- チャリティに参加しやすい仕組みを構築  
⇒より多くのチャリティ参加者と寄付先団体の獲得
- チャリティの「見える化」を推進  
⇒募金がどのように使われるかを目に見える形で周知。チャリティに貢献していることを実感。  
（第10回記念大会では、大阪のまちの発展に寄与するシンボル企画を検討）

## —目指すべき方向性—

# 『みんなが参加する世界一のチャリティマラソン』へ

日本一沿道応援が熱いと評されるユニークな魅力など、  
大阪マラソンならではの特徴を活かしながら、  
ランナー、ボランティア・大会関係者、観客など、総勢134万人を超える  
大阪マラソンに関わる全ての人がチャリティに参加できる取り組みを行っていく。



# 「大阪マラソン=チャリティマラソン」の発信

## チャリティスローガン「おもてなし（おせっかい）でおせったい」

四国で受け継がれる“お接待”のように、金銭や物品の寄付のみでなく、自発的なおもてなしの心をもってチャリティに取り組めるような発信・仕組み作りを行う。

ステークホルダーを3つのレイヤー（階層）に分け、それぞれのステークホルダーが参加しやすいメッセージと新たな取り組みを展開。



# 2018-2020 チャリティの新たな取り組み

★マークをシンボル施策として検討中



2018年/ 第8回

★チャリティ表彰 アワード新設

○チャリティの広報強化・寄付先  
団体応援エリア

寄付  
関連



2019年/ 第9回

★新コースと大阪のチャリティ  
文化発信

★寄付先団体の裾野拡大  
「チャリティパートナー制度」の導入

○チャリティ親子ランリニューアル



2020年/ 第10回

★大阪マラソンの寄付金を  
目に見える形で大阪のまちに還元

○寄付先団体コミュニティの発足

おもてなし  
関連

○地元の力でランナーサポート

★チャリティ応援グッズの開発

○地域・地元学校との連携

★シンボルマーク (=チャリティ  
ロゴ) の開発

今後、下記のプログラムを検討

## ★ チャリティ表彰 アワードの新設

現状1種類のみのアワード（最も寄付金額を集めた方を表彰するベストチャリティーランナー賞）を多様化し、チャリティへの貢献度を様々な賞で表彰することで、チャリティへの関心をより一層高める。



## 地元の力でランナーサポート

コース沿道の企業や店舗、地域の団体に協力や応援を呼びかけ、まち全体でランナーをサポート。

例：  
地域発信の沿道応援



私設トイレの設置



## チャリティの広報強化・寄付先団体応援エリア

より多くの方にチャリティや寄付先団体を知ってもらうため、HP等で分かりやすく紹介する他、大会当日に寄付先団体がランナーを応援する寄付先団体専用の応援スペースを設置。



## ★ 新コースと大阪のチャリティ文化発信

大阪マラソンのコース上には、大阪城や中之島公会堂をはじめ、かつて寄付によって形成された建造物が数多く存在する。  
第9回大会においてランナーの関心度が最も高いといえる新コースの紹介において、コース上のランドマークとチャリティ（寄付）文化を結び付けて発信



## ★ 寄付先団体の裾野拡大 「チャリティパートナー制度」の導入

寄付先団体の広がり・新規参入を強化するため、既存14団体を『メジャーパートナー』とし、新たな団体枠『パートナー』を設定。

### メジャーパートナー

一般ランナーからの寄付金+チャリティランナー分の寄付金を得る。  
※認定期間は上限を通算10年まで  
※11年目以降も、パートナーとしての申請は可能。

### パートナー

・チャリティランナー分の寄付金のみを得る。  
・EXPO出展義務をなくす等、寄付先団体の負担軽減。

## ★ チャリティ応援グッズの開発

現在のなないろハイタッチ手袋のように、ランナー以外の方々も楽しみながらチャリティに参加できるアイテム・グッズを開発。



## チャリティ親子ランリニューアル

チャリティ親子ランをランニング+チャリティを体験できるイベントに再構築。子ども時代にチャリティを体験できる機会を提供するとともに、子どもの周囲の人間（家族や学校）を巻き込み、チャリティ関与者を増やす。



※チャリティ体験は大阪マラソンチャリティプログラムの一助（芝生の植え付け等）となるような活動を想定

## 地域・地元学校との連携

地域のスポーツクラブや大阪の小・中・高校や大学機関・団体等と連携し、大阪マラソンをプラットフォームに様々な取り組みを行い、ランナーホスピタリティの向上を図るとともに、これまで接点のなかった層を巻き込む。

例)

・地元子ども達からランナーへお手紙  
・小学校の授業で、大阪マラソンをテーマにした絵画や作文を制作し、作品をEXPOで展示



## ★ 大阪マラソンの寄付金を目に見える形で大阪のまちに還元

大阪マラソンがチャリティマラソンであることをより一層浸透させるために、一般の方々が視覚的・直感的に“チャリティ”を実感できるよう、寄付金をより身近で、分かりやすい形で、大阪のまちに還元するプランを検討。

### 10回大会目玉施策



## ★ シンボルマーク (=チャリティロゴ) の開発

第10回のマラソン大会のロゴリニューアルにあわせて、チャリティロゴを開発。本大会のロゴリニューアルとともに発信することで話題化・拡散を図る。チャリティロゴを各種ツールに展開し積極的に発信していくことで、大阪マラソンが“チャリティマラソン”であることを広くPRし関与者を拡大。



※東京マラソンチャリティー缶バッジ

## 寄付先団体コミュニティの発足

歴代の寄付先団体も参加できる会員組織を結成。過去大会の寄付先団体ともつながりを継続することで、裾野拡大を図り大阪マラソンのチャリティの輪を広げていく。

- 【会員特典(案)】
- ・大阪マラソンからの情報提供
  - ・Facebookに非公開のページを設けての情報交換
  - ・大阪マラソンアンバサダーや寄付先団体が集うパーティーへの招待(会費制)等

